

●「東日本大震災後の鍼灸ボランティアにおけるアンケート調査

～昨年度の実態調査に続く～」2016年 (社)全日本鍼灸学会 北海道大会発表

東日本大震災後の鍼灸ボランティアにおけるアンケート調査

～昨年度の実態調査に続く～

あんずの種

畠中 美希、原田 大祐

【目的】震災から5年が経ち、東日本大震災被災地支援団体「プロジェクトさとわ」も6年目を迎える(第31次、平成27年12月現在)今回、今後の活動の発展を目的に受診者の当活動に対するアンケート調査を行った。

【方法】岩手県陸前高田市「スーパーマイヤ竹駒店」駐車場にて無料鍼灸ボランティアを実施。平成27年7月～9月までの計3回、受診者の治療後アンケートを渡し、その場で記入して頂く。質問項目は、問1当活動を知ったきっかけ、問2過去における鍼灸治療の有無、問3当活動の治療回数、問4現在の主訴症状、問5再診の希望、問6当活動の治療金額設定とした。各項目の回答は選択式とし、問4に関しては複数回答可とした。

【結果】受診者116人のうち、45人にアンケートを依頼し内45人回答。各項目の結果に関しては問1「通りすがり」22人「知人・友人」15人「チラシ」7人、問2「有」13人「無」32人、問3「初めて」20人「2～5回」15人「6回以上」8人、問4「腰痛」32人「肩こり」29人「膝痛」10人「消化器」2人「不眠」2人「耳鳴り」2人「その他」5人、問5また受けたい45人、問6「500～1000円」20人「1000～2000円」14人「2000～3000円」3人であった。回答の得られない項目もあり。

【考察・結語】今回の調査により、地元住民の声を聞くことができた。問1では「知人・友人」「チラシ」という回答が半数となり、問3では半数以上の方が2診目以上という結果がみられた。これらの結果から、地元住民の認知度が上がっていることが示唆された。今後の課題として、アンケート配布率を上げることや、また参加ボランティアの意識調査を行い、地元住民と参加ボランティアの要望を収集し活動に反映させることと考える。今後も地元住民の健康に貢献できるよう活動を継続していきたい。

キーワード：ボランティア、東日本大震災、陸前高田、アンケート調査、活動継続